

介護保険住宅改修状況等確認書(住宅改修が必要な理由書)

記入要領 P1

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号																	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	男・女
	被保険者氏名													要介護認定 (該当に○)	要支援 1・2	要介護 経過的・1・2・3・4・5										
	住所	(電話番号)																								
	住宅の所有者	本人との関係()																								

保険者	確認日	平成	年	月	日	評価欄	
	氏名						

作成者	現地確認日	平成	年	月	日	作成日	平成	年	月	日	着工予定日	平成	年	月	日
	所属事業所	事業所名													
		事業所所在地	電話番号()												
	資格	1. 介護支援専門員(事業所番号) 2. 介護予防支援事業者担当職員(事業所番号) (職種)※介護支援専門員の場合は1. に記入 3. 福祉住環境コーディネーター2級以上(証書番号) 4. 増改築相談員(登録番号) ※3. 4. の者がこの理由書を作成する場合は、本件、住宅改修にあたり連携・調整を行った担当の居宅介護(介護予防)支援事業所名及び介護支援専門員氏名を記入してください。 (居宅介護(介護予防)支援事業所名) (介護支援専門員氏名)													
作成者氏名															
住宅改修を行う被保険者の居宅介護(介護予防)支援() ☐ 居宅介護(介護予防)支援を受けている ☐															

●福祉用具の利用状況とともに改修後、利用が想定される福祉用具をレ点チェックする。

〈総合的状況〉

利用者の身体状況	●立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作に関する身体状況を記述する。 ●屋内の移動方法(つかまらなで歩ける・つたい歩き・介助歩行・つえや歩行器利用・車いす介助など)は必ず記述する。 ●さらに、屋外に関連する改修をする場合は、屋外の移動方法も必ず記述する。
介護状況	●各種介護サービスだけでなく、家族の介護も含めた介護状況を記述する。 ●見守り程度の状況であっても、その内容を記述する。
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	●利用者の家族が住宅改修によって現在の暮らしをどのように変えたいのか、あるいは継続していききたいのかを、専門職の判断も踏まえた上で、総合的に記述する。 ●これまでの生活歴を踏まえ、利用者はどのような社会参加をしていききたいのかを記述する。

福祉用具の利用状況		
住宅改修後の想定	改修前	改修後
●車いす	☐	☐
●特殊寝台	☐	☐
●床ずれ防止用具	☐	☐
●体位変換器	☐	☐
●手すり	☐	☐
●スロープ	☐	☐
●歩行器	☐	☐
●歩行補助つえ	☐	☐
●認知症老人徘徊感知器	☐	☐
●移動用リフト	☐	☐
●腰掛便座	☐	☐
●特殊尿器	☐	☐
●入浴補助用具	☐	☐
●簡易浴槽	☐	☐
●その他	☐	☐
・	☐	☐
・	☐	☐
・	☐	☐

●「その他」の欄には、住宅改修に関連した介護保険給付対象外の福祉用具を記入する。

記入要領 P2

[illegible]